

# harmony

— 岩手県立中部病院 地域連携便り VOI. 4 —

— ごあいさつ —

院長 北村 道彦

きたむら みちひこ



平成 23 年度は、前期の 6 ヶ月間が終了しました。

沿岸の大きく被災した高田、大槌、山田の県立 3 病院は、仮設診療所で外来診療を開始しました。県立釜石病院も病棟の耐震工事がほぼ終了しました。新しいフェーズに入ったのは確かですが、それでも復興はまだこれからです。仮設住宅での ADL の低下、冬を迎えて感染症のアウトブレイクなど課題は少なくありません。これからも圏域内外の連携を力に、沿岸支援を展開していきたいと考えています。

さて、本年度の大きな懸案であった 434 床フル稼働は、皆様のご協力で、順調に動いております。ベッド利用率が上がる一方で、平均在院日数は 11 日を切る月も出ています。当院の急性期機能を守り支えて下さる連携先の医療機関、福祉機関の皆様にも、改めて御礼申し上げます。

連携医療機関の訪問も順調に進んでおります。それぞれの施設に足を運びますと、開設された方の建物や敷地に込めた熱い気持ちがうかがわれます。そして、何より、地域にしっかり根ざした医療が展開されていることを感じます。中部病院と連携病院の距離が出来るだけ短くなることを切に願っています。順次声をかけさせて頂きますので、その際には、ご意見、ご要望を是非、お寄せ下さい。

厳しい季節がまたやってきます。ご健康をお祈りいたします。



『そ〜ら通信』は「太陽」・「エコ」・「青空」、そして「元気のいい掛け声」と、たくさんの方がこめられた院長通信の名前です。

北村院長は山歩きが大好き。このコーナーでは、北村院長が山で出逢った花々を紹介します。



ユキワリコザクラ

時を忘れて見入ってしまうほど大々好きで、年に 1 度は逢い

に行きたい花です。スライドに使った回数は数えきれません。焼石岳頂上近くの、メインルートから外れたところで偶然に出会いました。前回のヒナザクラは雪解けの湿地を好みますが、可憐であてやかなこの花は比較的乾いた草地に咲いていました。圧倒的に数が少なく貴重です。

# 胃・大腸がん 地域連携パス運用説明会を開催

地域医療科長兼地域医療福祉連携室長兼緩和医療科長  
星野 彰 ほしの あきら

## はじめに…当院のとんでもない状況

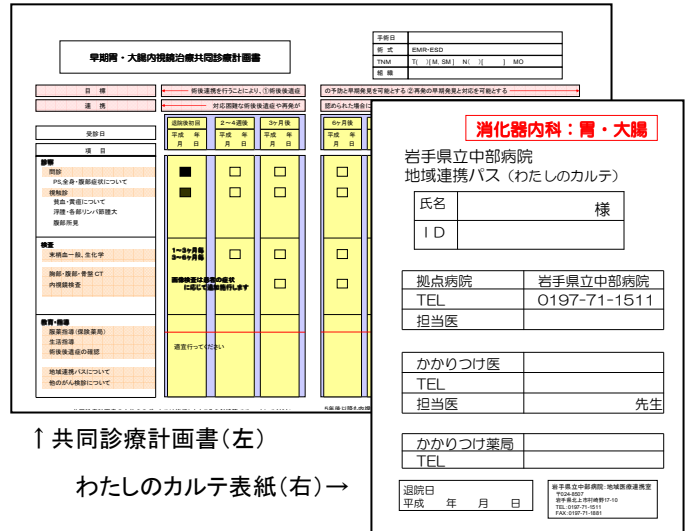
地域の皆様には平素から大変お世話になって  
います。

冒頭から不穏当ですが、実は当院は現在とんでも  
もない状況に陥っています。救急車受け入れ数が  
一日平均 9.4 台、一般病棟のベッド稼働率 84%、  
平均在院日数はなんと 10.3 日！と、当院は急性  
期を卒業して“超”急性期病院（北村院長命名）  
に変貌しつつあります。実績だけを見ればすごい  
病院ですが、これは患者さんや家族、スタッフに  
とっては決してうれしい状況ではありません。

なぜこんなに忙しい病院になってしまったのか  
…。簡単に言えば、外来でたくさんの方が  
治療を待っているため、今、入院しているかたに、  
より侵襲の少ない質の高い医療を提供して、とに  
かく早く良くなって帰っていただくしかない。そ  
のため皆が必死で働き続けた結果、気づくと平均  
在院日数が短くなっていったというのが実情で  
す。

## ツールとしての地域連携パス

そんな状況なので中部病院では外来でゆっくり  
患者さんとお話しをする余裕はなくなっていま



↑ 共同診療計画書 (左)

わたしのカルテ表紙 (右) →

ました。急性期治療が終わった患者さんについ  
ては、これまで以上に地域の先生方や医療介護の  
スタッフの力をいただかなければ、十分な医療と支  
援を提供することができません。そのためのツ  
ールが地域連携パスです。現在当院に関するもの  
としては、「大腿骨頸部骨折」「脳卒中」「心筋梗塞」  
「糖尿病」の地域連携パスが動いています。

## 「連携無くして地域医療なし」

そして、このたび私たちは、花巻北上両医師会  
の先生方と一緒に、「胃がん・大腸がん、地域連携  
パス」を作成しました。当院で胃がんや大腸がん  
の手術を行い、経過が良好な場合は地域の先生に  
紹介して日ごろのフォローをしていただき、中部  
病院では数か月に 1 回の定期検査を行うことで、  
先生方と一緒に地域のがん患者さんを支えてい  
きたいと考えています。

毎回、書きますが、「連携無くして地域医療な  
し」。これからも中部病院は皆様と一緒に地域のた  
めがんばってまいりますので、どうぞよろしく  
お願い申し上げます。



説明会当日の様子

# 新任医師紹介

平成 23 年 10 月に着任した医師を紹介します。  
どうぞよろしくお願いいたします。



もりかわ むねたか  
盛川 宗孝

診療科・役名	第3循環器内科 科長
出身大学	岩手医科大学
卒業年	平成10年
所属学会	日本内科学会(専門医)、日本循環器学会(専門医)、日本救急医学会(専門医)
ひとこと	地域のために力になれるよう頑張りたいです。



にいぬま はなえ  
新沼 花恵

診療科・役名	産婦人科 医師
出身大学	旭川医科大学
卒業年	平成21年
所属学会	日本産婦人科学会
ひとこと	まだまだ未熟者ですが一生懸命頑張りますのでよろしく御願致します。

== 退任医師 == (9月30日付)

循環器内科医長 池端史子・外科医長 三田村篤・産婦人科医師 菅原千裕



## 《6回シリーズ》放射線治療及び 核医学分野での取り組み

放射線治療科長 小原 東也 おばら とうや

岩手県立中部病院として開院した当院の特色のひとつに「放射線医学分野の高機能化」が挙げられます。放射線医学分野は、単に一診療科の診療内容という範囲を超えて、病院の「インフラ」として機能し、院内および連携医療機関に提供する医療技術の水準の一端を左右するという意味で大きな影響力を持っていると言えますが、高い水準のものを求めようとする際には設備・機器への投資も大きなものを求められることになり、またこれを運用するための人的資源も必要とされることとなります。通常は「このくらいの規模の病院が、全県(あるいは全国)的に見て最低限揃えているべき内容」を実現する線がせいぜいで、大学病院でもない一般の公立病院が先端的な技術・機器に取り組んでいくということは望みがたいのが普通だと思われます。しかし、当院の開院計画にあたって、旧北上病院の後藤院長及び北村現病院長の「放射線医学分野を充実したものに」という明確な意向が強いリーダーシップで推進された結果、県内はおろか東北地方全体から見ても最も先進的な機能を提供できる強力な医療機関のひとつとして名乗りを上げることができるレベルに至っております。64列MDCTや1.5T級MRI装置、電子カルテシステムの導入と同時に整備されたPACSシステムなどもその一環ですが、このコーナーでは、他の一般の医療機関と一線を画す特色としての放射線治療部門および核医学部門でのトピックス的な取り組みについてシリーズでご紹介します。

(次号は「高精度放射線治療」の紹介です)



# 第1回地域医療研究会(ご案内)

地域医療に関わる医療関係者が集まり、症例発表及び意見交換で交流を深めることを目的に、下記日程により地域医療研究会を開催します。

参加申込は不要です。多数の参加をお待ちしております。

1. 開催日時 平成23年11月10日(木) 18時～20時
2. 場 所 岩手県立中部病院 講堂(2階)
3. 発表演題
  - 1) 「岩手県立中部病院救急総合診療科の活動報告と今後の展望」  
岩手県立中部病院 救急総合診療科 内科医長 山田 哲也 氏
  - 2) 「老人施設における看取りの状況」  
医療法人社団敬和会 総合センター管理者(主任介護支援専門員・看護師) 菊池 富士子 氏
  - 3) 「こむら返り」について有効な治療法  
和賀診療所 院長 松谷 裕之 氏
  - 4) 「東日本大震災における在宅酸素療法患者への対応」  
北良株式会社 代表取締役社長 笠井 健 氏
  - 5) 「開業医における電子カルテ時代の停電対応」  
一災害時に基幹病院へ負担を集中させないために一  
坂の上野田村太志クリニック 院長 田村 太志 氏
4. 特別講演  
『住民と対話する医療』  
一関市国民健康保険 藤沢病院 一関病院事業 病院事業管理者 佐藤元美 氏
5. お問い合わせ先  
岩手県立中部病院 地域医療連携室 (電話 0197-71-1511)



## 地域医療連携室及び 各診療科からのお願い



- ◇当院は予約制です◇ 当院は現在一日平均 523 人の患者さんが受診しており、基本的に外来診療(小児科を除く)は予約制とさせていただきます。患者さんが予約なしで紹介状をお持ちいただいた場合、長時間お待たせしたり、外来の状況によっては予約を取りなおして後日ご来院いただく事もありますので、お手数をお掛けしますが、緊急の方以外はFAXで事前予約のお申込をいただくようご協力をお願いいたします。
- ◇胃瘻造設について◇ 当院では胃瘻造設の紹介を受けておりますが、胃瘻交換の紹介については、現在お受けしておりませんのでご了承願います。
- ◇マスク着用のご指導を◇ 咳が長引いている方、感染が疑われる方をご紹介いただく際は、来院時、マスクを着用されるようご指導願います。

岩手県立中部病院 地域医療連携室  
〒024-8507 岩手県北上市村崎野 17 番 10 号  
TEL 0197-71-1511 FAX0197-71-1881 (地域医療連携室専用)  
URL <http://www.chubu-hp.com/>

